

はまな

No. 549 平成 27 年 2 月

静岡県水産技術研究所浜名湖分場

〒431-0214

静岡県浜松市西区舞阪町弁天島 5005-1

TEL 053-592-0139 FAX 053-592-0906

<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/hamanako>

e-mail: suigi-hamanako@pref.shizuoka.lg.jp

目次

平成 26 年のアサリ漁を振り返る	・・・1
平成 26 年の浜名湖漁獲統計	・・・3
平成 26 年度漁業士認定が行われました	・・・5
ここまで成長しました！～浜名湖分場で飼育したウナギについて～	・・・5
体験学習施設「ウォット」より	・・・6

浜名湖における平成 26 年のアサリ漁獲量は 4,127 トン、対前年比 294%となりました（浜名漁業協同組合集計）。本稿では、26 年の漁模様を振り返ってみたいと思います。

1 漁獲等の動向

（1）年間漁獲量と採貝連合会員数

昭和 57 年以降の年間漁獲量と採貝連合会員数の推移を図 1 に示しました。平成 26 年の漁獲量は 4,127 トンと、過去 10 年間（平成 16～25 年）の平均値 3,774

トンを上回り、24、25 年の低迷から回復する結果となりました。会員数は平成 15 年以降増加傾向にあり、22 年以降は 600 人以上で推移していましたが、26 年は 586 人で、600 人を下回りました。

（2）月間漁獲量

平成 26 年の月間漁獲量の推移を図 2 に示しました。月間漁獲量は、162～535 トンで推移し、全ての月で 25 年を上回りました。また、過去 10 年間の月平均と比較すると、4～9 月は漁獲量が上回り、特に、6、7 月及び 9 月は、100 トン以上上回る結果となりました。

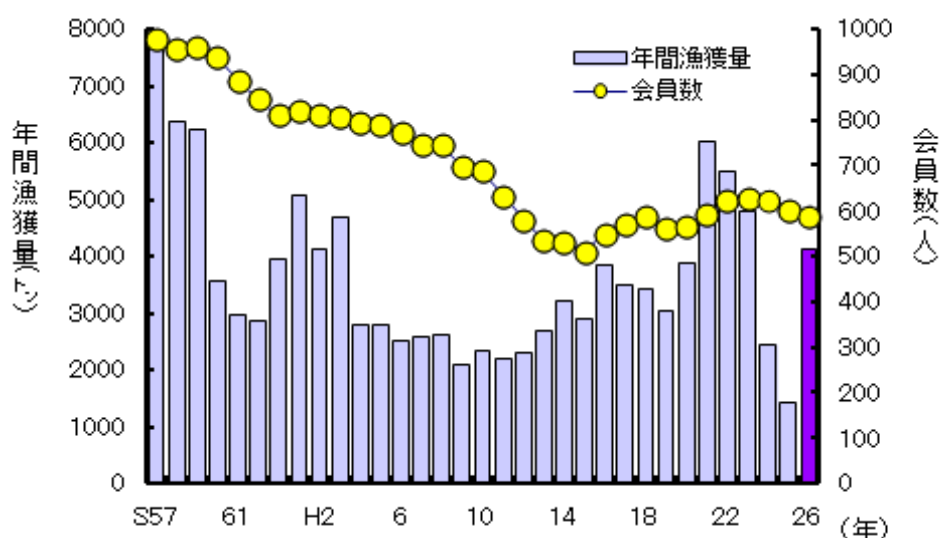


図 1 アサリの年間漁獲量と採貝連合会員数の推移

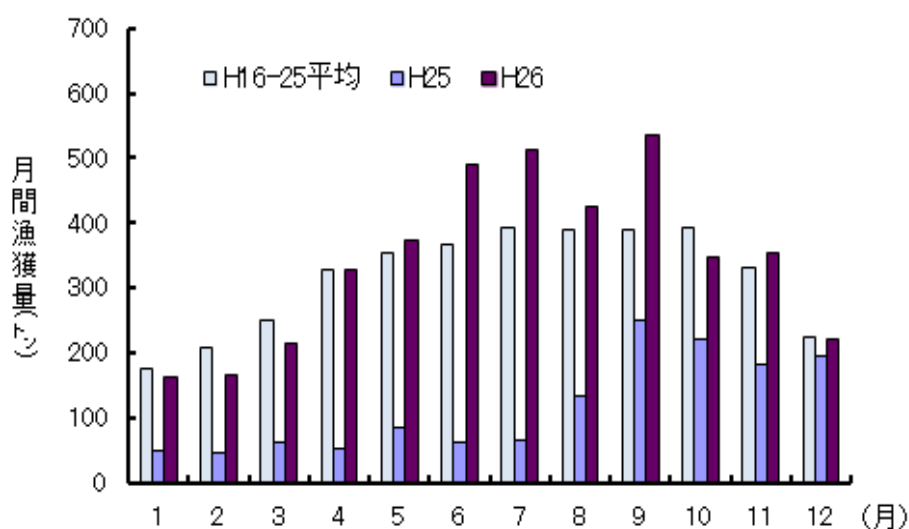


図 2 アサリの月間漁獲量の推移

2 単価等の動向

(1) 年間漁獲金額と年平均単価

昭和 57 年以降の年間漁獲金額と年平均単価の推移を図 3 に示しました。平成 26 年の漁獲金額は 15.1 億円で、過去 10 年間の平均値 13.7 億円を上回り、漁獲量と同様に、24、25 年の低迷から回復する結果となりました。平成 26 年の年平均単価は 365 円/kg で、過去 10 年

間の平均単価 362 円/kg を上回りました。

(2) 月別平均単価

月別平均単価の推移を図 4 に示しました。平成 26 年の月別平均単価は、352～383 円/kg で推移し、9～12 月は、過去 10 年間の月平均、及び前年を上回りました。

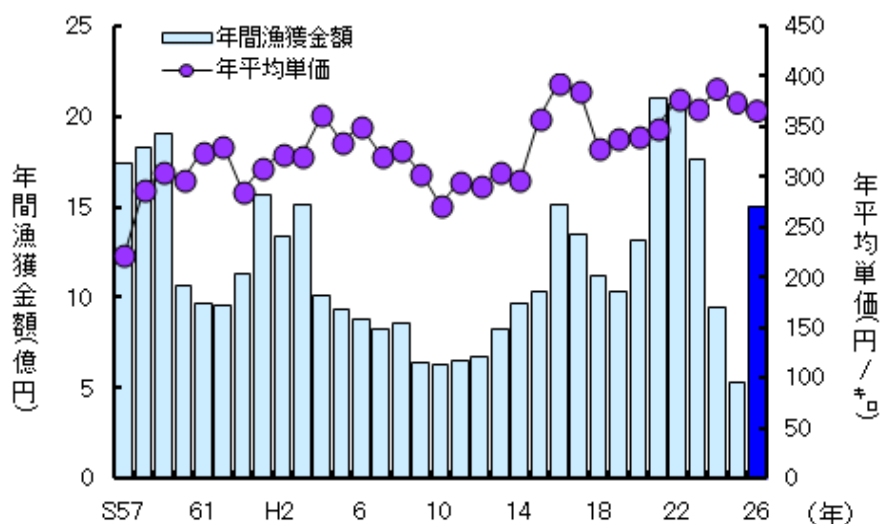


図 3 アサリの年間漁獲金額と年平均単価の推移

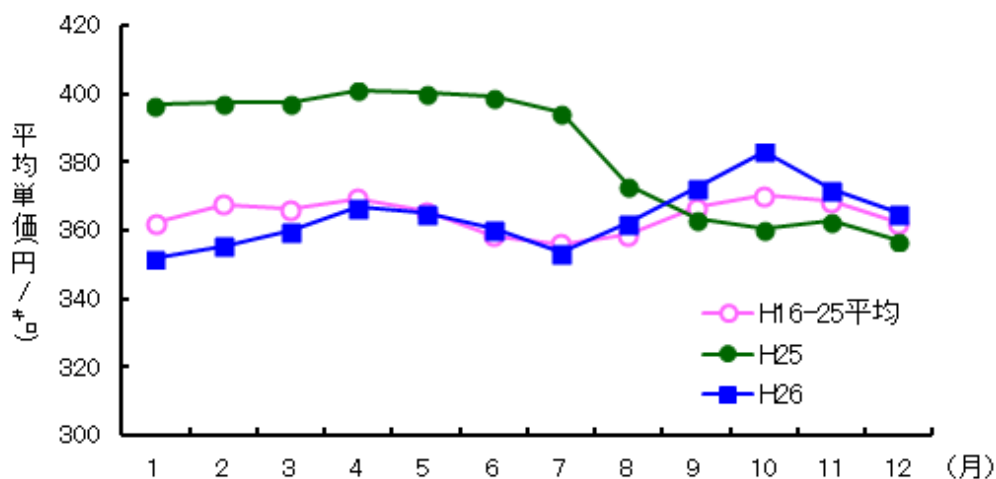


図 4 アサリの月別平均単価の推移

3 今後のアサリ資源の管理について

前年のアサリの漁獲量は過去最低を記録し、大変厳しいものとなりましたが、本年は、前年比 294%と漁獲量が大きく回復する結果となりました。回復の要因は、採貝連合会が、平成 24 年から引き続き、1 人 1 日当たりの漁獲量を 110kg から 66kg に制限していることな

どが考えられます。この制限は、過去最も厳しい設定であるため、漁業収入の影響が心配されます。

採貝漁業者が主体となって、平成 25 年度から実施しているアサリの人工種苗生産や天然採苗 (本誌 543 号参照) について、今年度は、規模の拡大や改良を行いました。これらの活動は、アサリ資源の持続的利用を目指

す上で、とても重要な取組です。取組はまだ2年目であり、技術レベルを向上させる余地はまだあることから、今後も取組の継続をぜひ期待したいです。

浜名湖分場では、採貝漁業者の取組を技術的な面で支援しながら、資源の現状評価や短期的な予測に基づく漁業管理手法の確立に向けた研究を進めています。具体的には、湖内の主要漁場に生息するアサリの資源量を調査し、成長や死亡などの資源量が増減する要素を考慮に入

れ、短期的な資源動向を予測することによって、アサリ資源の上手な利用に繋げていく研究です。研究は、今年度で終了しますが、この研究成果を活かすため今後は、漁業者と共に資源調査を行い、定期的に情報提供を行っていく予定です。

浜名湖分場では、今後も、アサリ資源を持続的に利用できるよう、採貝漁業者の取組を支援していきます。

平成 26 年の浜名湖漁獲統計

山内 悟

浜名漁協の統計資料をもとに、平成 26 年に浜名湖内で漁獲された漁業種類別（養殖を除く）の漁獲量を図 1 に、漁獲金額を図 2 にまとめました。総漁獲量は 4,276 トンであり、昨年の 1.6 倍以上となりました。漁業種別の内訳は採貝が最も多く 4,127 トン（96.5%）、次いで袋網が 118 トン（2.8%）、三枚刺網 16 トン（0.4%）となり、順位は昨年の結果と同じでした。一方、総漁獲金額は 1,934 百万円であり、前年の 920 百万円よりも 2 倍以上増加しました。漁獲金額の内訳は採貝が最も多く 1,506 百万円（77.9%）、次いで単価の高いメッコ網 212 百万円（10.9%）、袋網 174 百万円（9.0%）となりました。昨年はアサリとシラスウナギが不漁となったので、その影響を受けて総漁獲量、漁獲金額とも大きく減少しましたが、26 年は特にアサリの漁獲量が大きく回復したため、それを反映した増加がみられました。

主要 30 魚種（銘柄）について、次ページに支所別（表 1）及び月別（表 2）に集計しました。なお、入出支所の水揚げは平成 18 年 4 月から鷺津支所、気賀・村櫛・白洲支所の水揚げは平成 22 年 1 月から雄踏支所に含まれ

ています。

アサリを除く 29 魚種の総漁獲量は前年比 97% の 138 トン、アサリが前年比 294% の 4,127 トン（詳細は本誌「平成 26 年のアサリ漁を振り返る」を参照）となりました。前年より増加した魚種は 13 種ありますが、このうち増加量の大きい魚種は、雑カニ、クロダイ、マイワシ等でした。特にマイワシは増加割合が前年比 512% と、主要 30 魚種で最も大きくなりました。また、シラスウナギも前年比 314% と、大きく増加しました。一方、減少量の大きい魚種はコノシロ、スズキ、クマエビ（アカアシ）でした。

近年減少が続いているクルマエビは前年の 4.1 トンから 3.1 トンに減少し、クマエビも含めて湖内のエビ類の減少が大きい結果となりました。なお、特産品として有名なノコギリガザミの漁獲量は 4.7 トンであり、前年比 78% となりました。

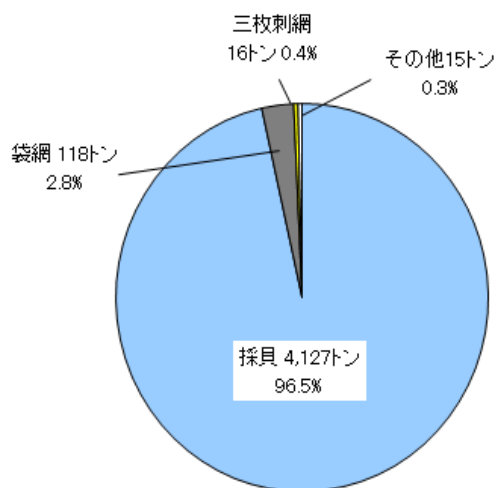


図 1 漁業種類別の漁獲量

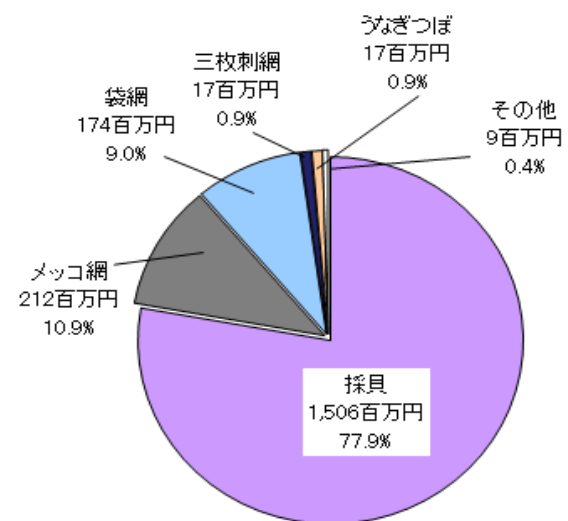


図 2 漁業種類別の漁獲金額

表 1 平成 26 年浜名湖における主要 30 種の魚種別、支所別漁獲量 (kg)

	舞 阪	新 居	鷺 津	雄 踏	合 計	前 年	26年-25年	26年/前年
コノシロ	0	1	12,762	8,178	20,941	23,458	▲ 2,517	0.89
マイワシ	0	0	1,444	0	1,444	282	1,162	5.12
ウナギ	0	48	1,892	7,234	9,174	9,309	▲ 135	0.99
シラスウナギ	87	235	56	159	537	171	366	3.14
アナゴ	0	10	786	737	1,533	555	978	2.76
サヨリ	0	0	85	279	364	283	81	1.29
ボラ	0	0	776	1,358	2,134	2,240	▲ 106	0.95
カマス	0	0	1,083	178	1,261	1,917	▲ 656	0.66
サバ	0	1	122	0	123	58	65	2.12
マアジ	0	6	2,108	478	2,592	3,007	▲ 415	0.86
ブリ類	0	0	336	107	443	401	42	1.10
スズキ	0	99	7,026	18,160	25,285	27,156	▲ 1,871	0.93
キス	0	0	332	71	403	222	181	1.82
クロダイ	0	0	2,386	5,434	7,820	6,199	1,621	1.26
キビレ	0	0	858	1,506	2,364	1,325	1,039	1.78
ハゼ(マハゼ)	0	2	1,509	5,939	7,450	6,816	634	1.09
コチ	0	7	1,277	360	1,644	2,241	▲ 597	0.73
アイゴ	0	0	2,300	26	2,326	2,527	▲ 201	0.92
カレイ類	0	52	2,429	1,298	3,779	3,770	9	1.00
ガワハギ	0	0	929	21	950	2,006	▲ 1,056	0.47
雑魚	0	10	2,993	4,150	7,153	6,846	307	1.04
クルマエビ	23	0	368	2,728	3,119	4,085	▲ 966	0.76
クマエビ	0	0	298	3,457	3,755	5,257	▲ 1,502	0.71
カニ(ガザミ)	0	0	665	2,194	2,859	4,041	▲ 1,182	0.71
ノギリガザミ	0	0	559	4,180	4,739	6,068	▲ 1,329	0.78
雑エビ	0	0	784	3,315	4,099	4,070	29	1.01
雑カニ	0	0	4,912	3,650	8,562	6,199	2,363	1.38
イカ類	0	0	1,790	798	2,588	3,080	▲ 492	0.84
タコ	0	96	5,751	2,422	8,269	8,806	▲ 537	0.94
小 計	110	567	58,616	78,417	137,710	142,395	▲ 4,685	0.97
アサリ	1,995,279	644,101	676,306	811,411	4,127,097	1,403,857	2,723,240	2.94
合 計	1,995,389	644,668	734,922	889,828	4,264,807	2,606,762	1,658,045	1.64

表 2 平成 26 年浜名湖における主要 30 種の魚種別、月別漁獲量 (kg)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
コノシロ	2	0	888	3,131	1,245	1,776	3,301	2,944	1,900	1,632	2,064	2,058
マイワシ	0	0	0	212	210	136	167	136	79	13	16	475
ウナギ	82	0	52	400	669	847	881	1,271	908	1,649	1,492	923
シラスウナギ	37	71	229	101	0	0	0	0	0	0	0	99
アナゴ	1	0	14	126	328	384	243	138	98	78	58	65
サヨリ	0	0	24	182	50	0	1	1	1	16	36	53
ボラ	56	13	180	227	79	143	117	324	298	175	163	359
カマス	0	0	0	0	0	16	87	146	303	303	395	11
サバ	0	0	0	0	0	0	35	4	4	2	46	32
マアジ	0	0	0	0	41	526	248	123	306	666	485	197
ブリ類	0	0	0	0	0	3	56	268	105	2	9	0
スズキ	430	0	895	2,181	2,845	2,319	2,585	3,750	3,394	3,004	2,624	1,258
キス	0	0	0	0	0	12	47	161	57	58	68	0
クロダイ	173	107	138	947	514	925	509	504	875	1,509	1,115	504
キビレ	0	0	38	116	152	152	203	350	253	174	115	811
ハゼ(マハゼ)	368	0	308	693	70	320	564	733	408	431	891	2,664
コチ	0	0	8	28	36	185	243	347	284	214	154	145
アイゴ	0	0	0	11	693	533	401	328	251	80	29	0
カレイ類	17	0	228	292	284	412	239	132	453	806	530	386
ガワハギ	0	0	0	0	1	2	0	27	211	337	315	57
雑魚	137	0	116	762	1,560	1,034	886	780	571	499	497	311
クルマエビ	0	0	0	2	172	876	1,229	481	131	126	91	11
クマエビ	0	0	0	0	0	0	0	344	2,527	815	65	4
カニ(ガザミ)	4	0	6	48	372	763	617	226	189	205	219	210
ノギリガザミ	5	0	1	21	60	114	576	1,172	1,108	568	964	150
雑エビ	0	0	0	5	61	1,290	1,167	117	537	695	225	2
雑カニ	56	20	12	391	988	1,228	1,473	1,447	1,315	1,205	394	33
イカ類	0	0	10	25	397	514	425	325	575	204	99	14
タコ	4	0	8	94	104	297	1,607	1,656	881	2,539	843	236
小 計	1,372	211	3,155	9,995	10,931	14,807	17,907	18,235	18,022	18,005	14,002	11,068
アサリ	162,156	166,916	214,807	328,454	372,432	488,562	512,159	426,309	534,945	348,260	352,730	219,367
合 計	163,528	167,127	217,962	338,449	383,363	503,369	530,066	444,544	552,967	366,265	366,732	230,435

平成26年度漁業士認定が行われました

今中 園実

静岡県では、漁業地域の中核としての活躍が期待される優れた漁業者を「静岡県漁業士」として認定し、漁業後継者の育成や魚食普及などに積極的な役割を果たしていただいています。漁業士認定は毎年1回行われており、平成26年度は、6名の方が指導漁業士（40歳以上の漁業者を認定）として新たに認定されました（東部2名、沼津1名、中部2名、西部1名）。認定式が1月21日に県庁で行われ、漁業士を代表して、沼津我入道漁協・後藤 光明さんが知事から認定証書を授与されました。

県西部地区からは、遠州漁業協同組合に所属し、しらす船曳網漁に従事されている、伊藤 英樹さんが認定されました。伊藤さんは、平成20年度に青年漁業士（39歳以下）に認定されており、これまでも地区の将来を担う若手漁業者としてご活躍されていましたが、本年から指導漁業士となり、地区漁業の未来のため、より一層のご活躍が期待されます。



26年度認定式での記念撮影

（左から3人目：遠州漁協・伊藤さん、4人目：沼津我入道漁協・後藤さん）

ここまで成長しました！～浜名湖分場で飼育したウナギについて～

青島 秀治

平成27年2月12日に、25年度に池入れしたニホンウナギの一部について、測定・取上を行いました。

取り上げた結果、総数は119尾でしたが、この中には体重1kgを超えるウナギも約10尾いて、中でも写真のウナギは、全長97.5cm、体重1.6kgでした。通常の蒲焼サイズが200～250gですので、その6倍以上の特大サイズです。シラスウナギでの池入れが25年4月下旬でしたので、シラスウナギから約1年9か月でこの大きさまで成長したことになります。

当场では水温約26℃の地下水による流水飼育をして

いるので、一般の養鰻場よりも飼育水温は低いのですが、丁寧に飼っていけばこのような特大ウナギを育てることも可能です。

今回、解剖して性別を調べてみたところ、このウナギはメスでした。養殖したニホンウナギはほとんどがオスになりますが、数少ないメスがここまで大きくなったようです。

次ページの写真をご覧ください、ウナギの大きさを実感してください！



全長 97.5cm、体重 1.6kg の特大ウナギ

体験学習施設「ウォット」より

★クラゲ展示が充実しました！★

ウォットでは、1月から展示するクラゲの種類を増やしました。今までは、ミズクラゲの1種類ですが、現在、アカクラゲとオワンクラゲを含め、合計3種類を展示しています。浜名湖で見られるいろいろなクラゲをぜひ、見に来てくださいね！！

●ミズクラゲ：日本で一番ポピュラーな種類。

●アカクラゲ（上の写真）：

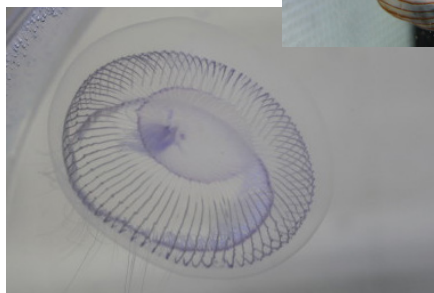
強い刺胞毒があり、刺されると強い痛みを感じます。

●オワンクラゲ（下の写真）：

光るクラゲ。オワンクラゲのGFP(緑色蛍光タンパク質)の研究で、日本人がノーベル化学賞を受賞しました。

(ウォット職員 藤 久実)

注：展示の内容は都合により、変更する場合があります。



★イベント案内★

○体験教室（要予約）

・「のぞいてみよう！プランクトンの世界」

3月21日（土）10:00～12:00（定員20名）

※小学生以上

プランクトンを捕まえて、顕微鏡で観察します。

・「お魚さんが待っている！エサやり体験」

4月4日（土）10:00～12:00（定員15名）

お魚たちのエサ作り、エサやりをします。

・「アサリのアレコレ大発見！」

4月18日（土）10:00～12:00（定員20名）

※小学生以上

浜名湖のアサリについて学びます。

・「君の力で大へんしん！かいがらクラフト教室」

4月25日（土）10:00～12:00（定員15名）

浜名湖の貝殻を使って工作をします。

○4月19日「しいく」の日企画 お魚飼育体験

開催日：4月19日（日）（しいくの日）

午前の部：「給餌体験」 10:00～11:00

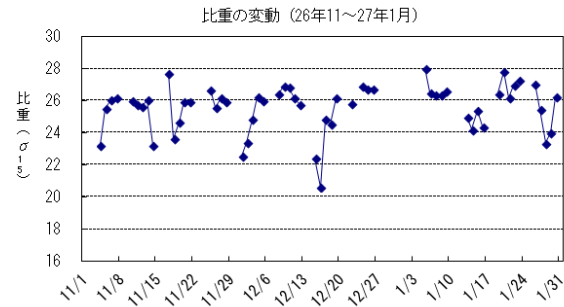
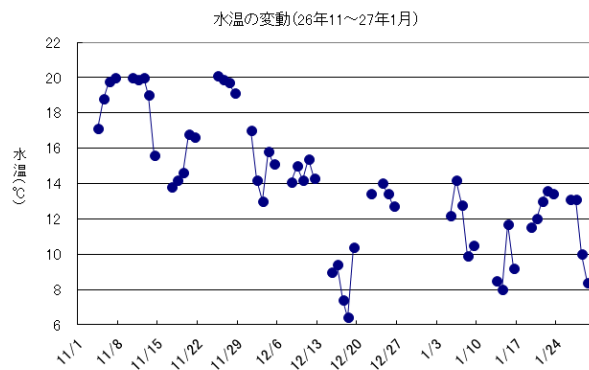
午後の部：「うらがわ探検」 15:00～16:00

（定員：午前、午後それぞれ20名）

この企画は当日受付のみです。ご注意ください。

*本コーナーに関するお申し込み・お問い合わせ等は、ウォット（053-592-2880）にお尋ね下さい。

弁天島の水温・比重（平成 26 年 11 ～ 27 年 1 月）



水温・比重の平均値

水温(℃)	11月				12月				1月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
2014～2015年	20.5	16.6	14.2	17.1	15.4	12.7	11.1	13.1	12.0	12.1	12.0	12.0
平年 (過去10年平均)	19.8	17.9	16.8	18.2	15.6	13.8	13.3	14.2	12.0	11.9	12.4	12.1

比重(ρ15)	11月				12月				1月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
2014～2015年	24.8	24.3	24.0	24.4	25.7	25.1	24.8	25.2	24.9	25.8	26.1	25.6
平年 (過去10年平均)	23.8	24.2	24.4	24.1	24.6	24.9	25.6	25.0	25.5	25.8	26.0	25.8

分 場 日 誌（平成 26 年 11 ～ 27 年 1 月）

26 年 11 月

5 日 新成長戦略研究現地指導（当場）
 11 日 定点観測（浜名湖）
 11～12 日 トラフグ全国会議（広島）
 13～14 日 魚類防疫 東海北陸ブロック会議（福井）
 14 日 農水商工連携セミナー（静岡）
 18 日 弁天島浜小屋プレオープンイベント（舞阪）
 20 日 水産業ビジネスモデル研究会（東京）
 25 日 栽培漁業ブロック会議（東京）
 静岡理工科大学研究フォーラム（浜松）
 26 日 水産振興審議会（伊東）
 28 日 水産研究発表会（焼津）

26 年 12 月

5 日 青年・女性漁業者交流大会（静岡）
 9 日 定点観測（浜名湖）
 6 次産業化担当者会議（静岡）

9～10 日 中央ブロック研究開発推進会議（横浜）
 12 日 クルマエビに関する打合せ（名古屋）
 17～18 日 二枚貝類飼育技術研究会（東京）
 18～19 日 トラフグ担当者会議（横浜）

27 年 1 月

14 日 定点観測（浜名湖）
 19 日 松屋銀座 静岡・山梨物産展視察（東京）
 20～21 日 ウナギプロジェクト研究推進会議（横浜）
 20 日 漁業士認定式（静岡）
 21 日 ふじのくに総合食品開発展（静岡）
 22 日 Jetro 輸出セミナー（沼津）
 23 日 浜松うまいものプロジェクト会議（浜松）
 27～28 日 全国湖沼河川養殖検討会
 アユの疾病部会（福岡）

表紙の写真： カキ養殖業者による、かき剥き実演（2 月 7 日「おいしい舞阪まると体験フェア」）